

タイトル

ドア用取手消毒(除菌)装置

技術分野

- 電機・電子
- 情報・通信
- 有機材料
- 金属材料
- 食品・バイオ
- 土木・建築
- 農林・畜水産
- その他()
- 機械・加工
- 化学・薬品
- 無機材料
- 輸送
- 生活・文化
- 繊維・紙
- 医療・介護

利用分野・適用製品

- ・ドア用取手(ノブ)全般
- ・扉全般

情報メモ

- 詳細資料: 有 無
- サンプル: 有 無
- 見学: 可 不可
- その他:

従来技術の課題・問題点

現在、ドアノブ本体を消毒(除菌)する機器が普及していない。そのため、マンションを含む住宅や商業施設等、多数の人が密集し行き交う場所では、ドアノブに様々な菌・ウイルスが付着している。その状態のドアノブに触れることにより二次感染する事がある。また、手洗いができる場所であっても、手洗い後にドアノブを介して再度手指が汚染されるため、手洗いの意味を呈していない。さらに、衛生対策が必須とされる医療・福祉施設等では、出入り口に手指消毒剤を設置しているが、各個人により使用状況が異なるため、ドアノブ本体は汚染されている可能性が高い。

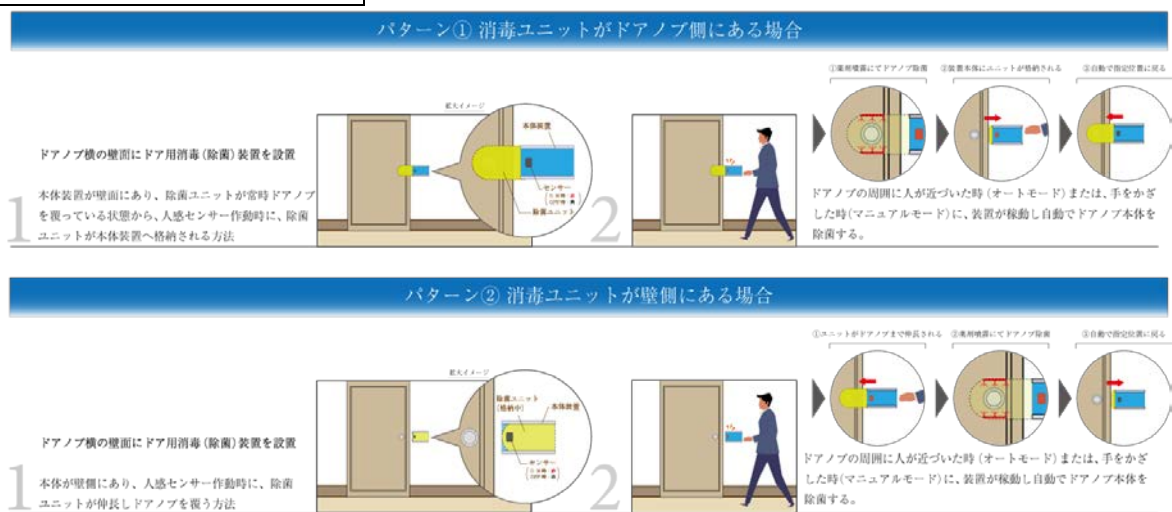
本発明の効果・特長

本発明は、衛生対策を強化し”人を守る”ことを第一として発案した。効果として、ドアノブに触れる前にドアノブ本体を消毒(除菌)する事ができる。外装に関しても、設置場所の雰囲気合った物を装着できるため、場所の印象を損なわずに使用することが可能である。また、利用者に対して設置した場所への付加価値を印象付ける。例えば、飲食店では食品衛生観念をアピールでき、医療・教育・福祉施設では、免疫的に脆弱である小児や高齢者への保護となる。ホテル等商業施設では、清潔感や高級感を増すことができる。結果、顧客満足度の向上へと繋がり、付加価値が生まれる。その他、前例のない衛生対策製品であるため、従来の製品に満足しなかった衛生観念の強い方にも支持されると考えられる。このように、本製品は単に衛生対策を強化するだけでなく、様々な場所や人に適合し、幅広いニーズを満たすことができる製品である。

技術概要(構造・動作等)

人感センサーを使用して、ドアノブの周囲に人が近づいた時(オートモード)や、手をかざした時(マニュアルモード)にイメージ図の通り、装置が稼動し自動でドアノブ本体を除菌する。

図・特記事項・その他



主たる提供特許

録番号/公開番号:特許第 6426322 号
 出願日:平成 30 年 8 月 8 日
 発明の名称:「ドア用取手消毒装置」
 権利者/出願人:株式会社サンライズプロジェクト
 政本 大助

関連特許番号